

デジタル戦略

CIOメッセージ



大和証券グループ本社
執行役副社長
情報技術担当(CIO)
兼 データ管理担当(CDO)

村瀬 智之

中期経営計画の2年目がスタートしました。「デジタル・イノベーションの追求」を実現していくための土台(環境、人材、文化)は、前中計で築き上げました。現中計では、最新テクノロジーを全面活用し、グループ全体で大きくジャンプアップするビジネスモデル変革のフェーズに入ります。

近年、デジタルテクノロジーは急速に進展しており、AIやブロックチェーンなど新たなデジタル技術が続々と登場しています。当社グループでは、証券業界で初めてAIガバナンス指針を策定し、先端テクノロジーをタイムリーにビジネス展開することで、「ビジネスの深化」と「デジタル・イノベーション」の実現に取り組んでいます。また、サイバー攻撃や不正アクセスへの対策として、「最新技術の導入」と「運用体制の強化」を継続的に実施し、お客様に安心してご利用いただけるサービスの提供に努めています。

このような流れをさらに加速させるため、ビジネス変革に資する新たなデジタル技術活用案件の創出を目的とした「デジタル案件価値創出件数」と、多くのトライアルや失敗を許容する風土の醸成を目的とした「デジタル案件トライアル件数」をKPIに設定し、全社的なデジタル・イノベーションの実現に取り組んでいます。今後もお客様一人ひとりのポートフォリオやライフプランに応じて、最適な商品・サービスを提供し、一層利便性を向上することで、「お客様の資産価値最大化」に貢献していきます。

● P.85 大和証券グループのAIガバナンス指針

戦略・方向性について

現中計では、グループ戦略骨子として「デジタル・イノベーションの追求」を掲げています。グループ内では「デジタル戦略」と呼び、お客様の資産価値最大化に向けて、「ビジネスの深化」と「デジタル・イノベーション」の2つのアプローチから、次に掲げる3つの骨子をもとに推進しています。

1つ目は、「富裕層向けビジネスモデルの変革」です。富裕層のお客様の多様なニーズにお応えした商品・サービスを提供するため、お客様の総資産やプロフィールなどの情報を詳細に把握できるサービスを開発します。また、お客様向けの提案・分析ツールを強化するなど、より深いお客様理解にもとづく最適なポートフォリオ分析を実現するための環境整備を進め、さらにデジタルアセットなどの良質なプロダクトの開発などを進めています。

2つ目は、「資産形成層向けビジネスモデルの変革」です。これから資産形成を始めるお客様へ向けて、ネットチャネルにおける商品・サービスの拡充に向けた基盤を開発します。AIオペレーターサービスの導入・サービス拡充によるデジタルアプローチの強化や、AI応答による待ち時間の削減を通して、お客様への応答品質の向上を図ります。

最後の「デジタル・イノベーション」では、データ活用の高度化とAIの全面活用、Web3.0領域の新規ビジネス創出に継続して取り組みます。近年、生成AIは急速に進化しています。特に、これまで人が担っていたさまざまな業務を自律的に処理できるAIエージェントは、抜本的な業務変革の実現につながる可能性を秘めています。当社グループは、マイクロソフト社と戦略的パートナーシップを締結し、グループ全体への浸透を図る取組みを進めています。Web3.0領域においては、グループ各社の強みを活かし、さまざまな案件に機動的かつ連携して取り組む体制を構築しています。今後も新たなトライアルに積極的に挑戦し、新規ビジネスの創出やビジネス変革を推進するとともに、高いスキルを持つ先端IT企業との一層の連携強化を図ります。

これら施策の原動力は人材であり、ビジネスアイデアと先端デジタル技術の融合が継続的な成果を創出していくものと考えています。高度なデジタル技術を活用したビジネス変革を担う人材を育成する「デジタルITマスター認定制度」や、デジタル・データ活用のための基礎スキルと業務に応じた実践スキルを習得するDaiwa Digital Collegeにより、継続的に全社員のデジタルリテラシー向上に取り組んでいます。